



レトリバ

株式会社レトリバ
取り組み紹介資料

- 01 – レトリバのご紹介
- 02 – レトリバが選ばれる理由

01

レトリバのご紹介



会社名	株式会社レトリバ
設立	2016年8月（10期目）
所在地	東京都豊島区西池袋1-11-1 メトロポリタンプラザビル14F WeWork内
従業員数	39名
代表	田口琢也
事業内容	自然言語処理及び機械学習を用いた ソフトウェアの研究・開発・販売・導入およびサポート
グループ企業	株式会社万葉
加盟団体	<ul style="list-style-type: none">・ AIガバナンス協会・ 言語処理学会・ NVIDIA inception・ LLM勉強会・ uTIEメンバーシップ・ Microsoft for Startups Founders Hub・ HEXAGON



社名に込めた想い

「レトリバ」という社名は、英語の「**Retrieval（検索）**」に由来しています。創業当初から磨き続けている検索技術をはじめとした自然言語処理技術や機械学習技術を通じて、「**ことば**」の発展を通じた**幸せなコミュニケーションに貢献したい**という思いが込められています。

また、狩猟犬や盲導犬として活躍する**レトリバー犬**のイメージが当社の理念に合致しているため、ロゴにラブラドルレトリバーを採用しました。**必要な情報を素早く届ける**狩猟犬のように、そして**お客様に寄り添う**盲導犬のように、最高のパートナーとしてAIサービスを提供してまいります。

Mission

AI技術で、人を支援する。

Vision

ことばを、知識に。

2016年にPreferred Infrastructureからスピナウトする形で設立。機械学習/自然言語処理領域への継続的な投資によって**データ整備と検索の領域で差別化し、顧客が有するデータ資産の価値を引き出すことによる戦略的AI活用を支援しています。**

創業経緯



2016年にスピナウト
自然言語処理に特化した事業を継承

**Preferred
Infrastructure**

2006年創業以来、自然言語処理等
高い技術力で評価される

得意なAI技術

機械学習 × 自然言語処理

データ整備 × 検索

企業の戦略的AI活用を支援

レトリバは、“最新技術そのもの”ではなく、“最新技術や確立された技術の両方を活用して現場の課題を解決する方法”を提供しています。

AI構築支援

RAG構築支援

「欲しい情報」を引き出し、「次の一手」へと繋ぐAI
社内外に散らばった情報を集約し、質問に対して必要な答えを瞬時に返すRAG（検索拡張生成）システムを構築します。

RAG精度改善支援

「使える回答」へ進化させるRAG精度改善
精度のボトルネックを特定し、データ設計・検索改善など総合的な見直しと改善を行い、回答精度向上を実現します。

AIエージェント構築支援

指示ひとつで業務を遂行する自律型AI
テキストや音声での指示を理解し、情報収集から整理・判断・実行までを一気通貫で行うAIエージェントを構築します。

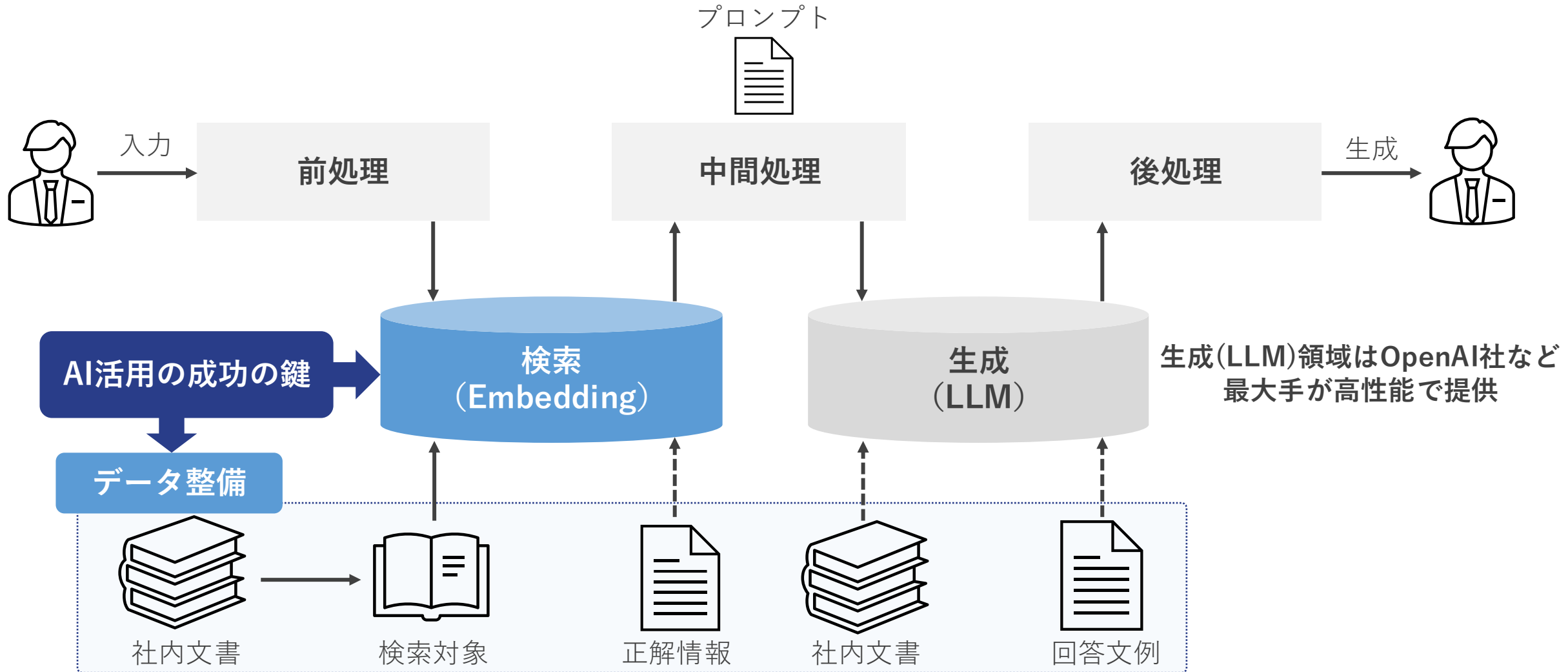
AI研究支援

技術の壁を越える先端LLM研究・検証
論文調査・実証・実装を柔軟に組み合わせた、先端AI技術の研究開発を受託します。

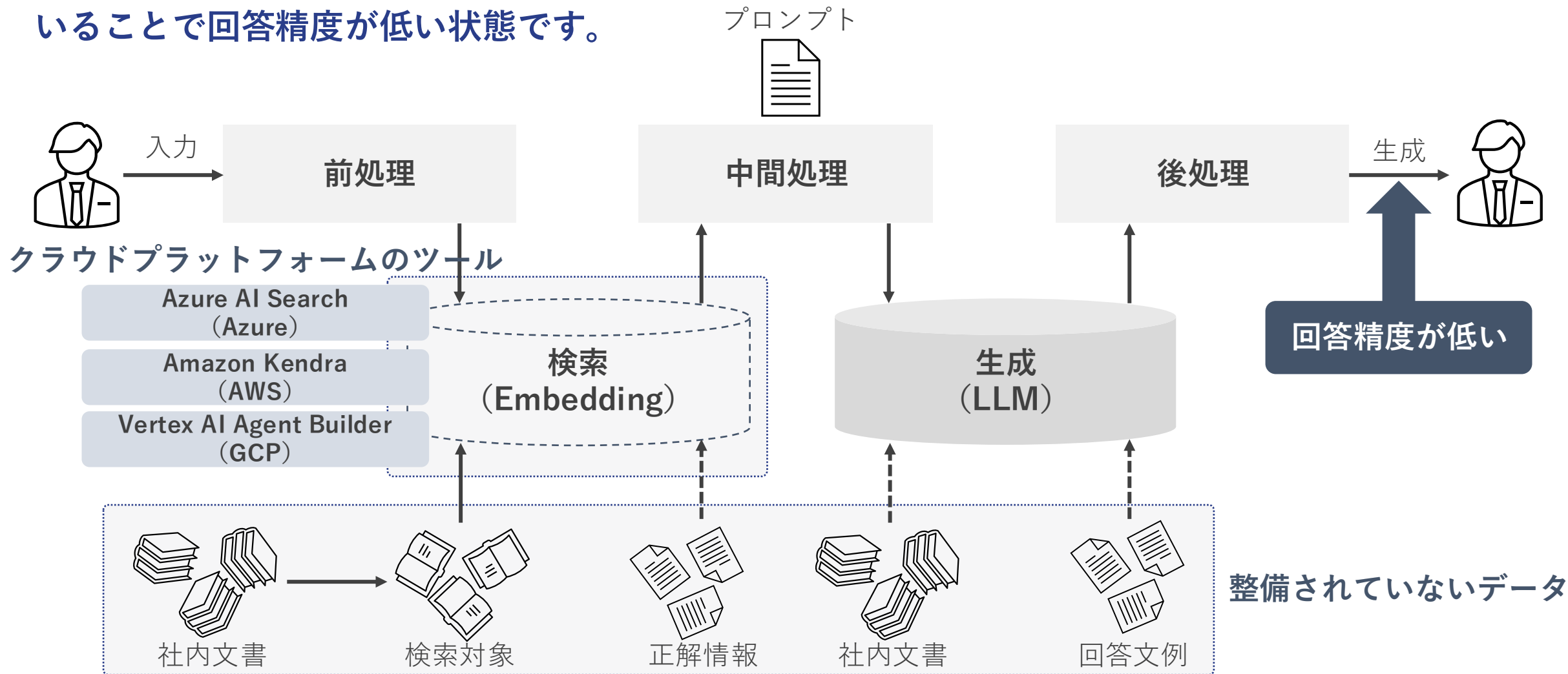
生成AIは各産業・各業務に産業革命のような変革をもたらすと言われており、**これらのAIのほとんどは組織ナレッジなどの各企業の独自データを組み合わせる「RAG」の技術が使われています。**当社のデータ整備と検索の技術は「RAG」の取り組みの成功の為に重要な役割を果たします。

領域	変革の内容	説明
製造業・設計	製品設計の最適化	VoC・過去不具合情報が統合され、AIによる推奨の設計仕様の提示により、設計者は高精度で迅速な設計を実現
製造業・製造	ロボット操作の簡易化	製造マニュアルや外部情報を考慮した人間の指示の理解により、誰でも人と協調したロボットとの作業を実現
製薬業・創薬	創薬プロセスの高速化	化合物の構造データが統合され、新しい構造の予測評価により、その抗体が薬となり得るかの評価プロセスの短縮を実現
顧客接点	顧客対応のパーソナライズ化	企業ナレッジと顧客情報が統合され、パーソナライズ化した顧客対応により、対応の迅速化と顧客満足度の向上を実現
社内業務全般	全社員の業務の再定義	企業内の情報を集約したセントラルAIと社員一人一人のパーソナルAIの対話により、全社員が高度な業務遂行を実現

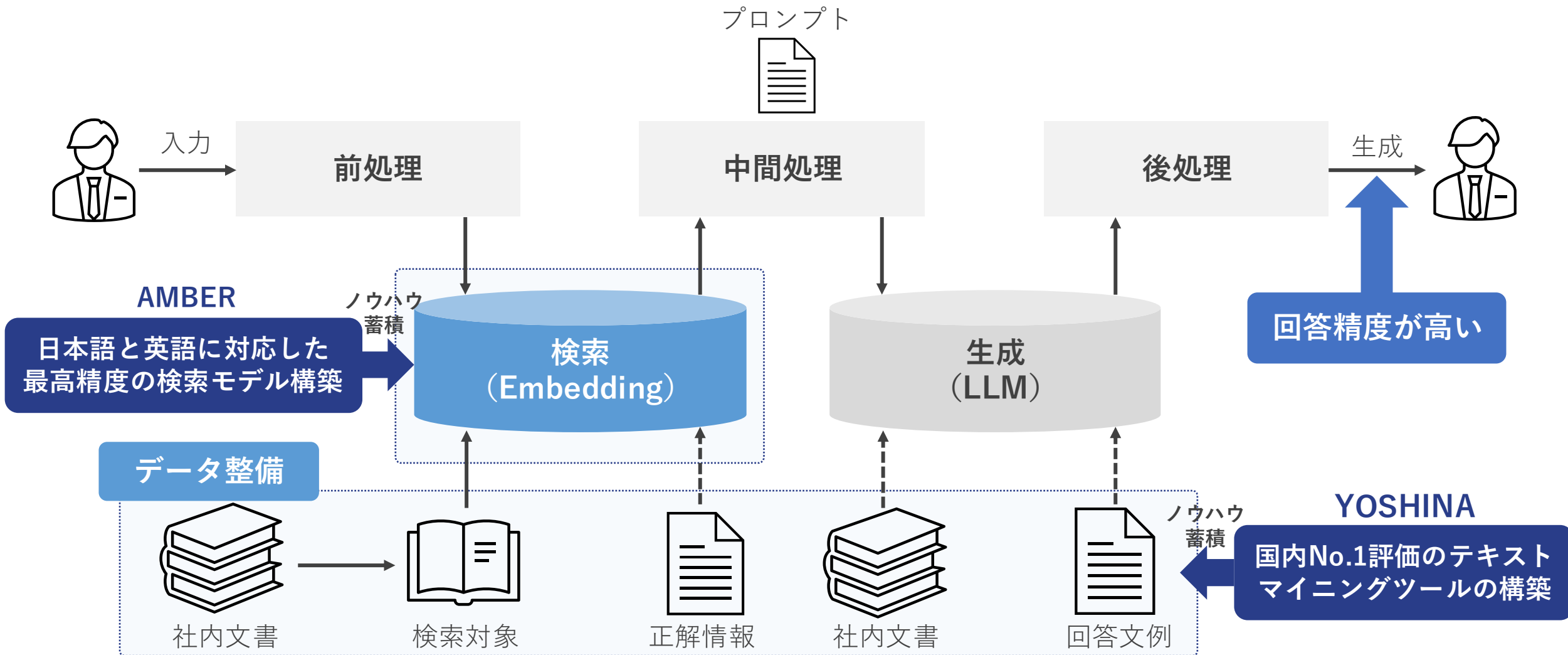
RAGのプロセスにおいて、「データ整備」とそれらを適切に抽出する「検索 (Embedding)」の領域が企業のAI活用の成功の鍵を握っています。



AIプロジェクトの多くは、クラウドプラットフォームを活用したLLM構築を行っている一方、検索はチューニングしていない既存ツールを活用し、また整備されていないデータを投入していることで回答精度が低い状態です。



当社は**データ整備や検索に関わる**独自モデルやプロダクトの構築を通して、それらの領域における**ノウハウを蓄積**しています。



Client

大手自動車メーカー

課題：社内文書データの品質

社内文書（約100万件）をRAGで活用しようとしたが、図や表が混在しており、単純なOCR/テキスト化では検索精度が出ないことが判明。手作業での修正は不可能な量だった。

解決案：AIによるAI用データ整備

AIを活用して図表を含む文書を構造化し、RAGが理解しやすい形式へテキストを書き直す処理を実施。「AIのためのデータをAIで作る」アプローチを採用。

 **インフラ**

顧客


 **データ**

レトリバ


100万件の非構造化データに対し、AIを用いたアノテーションを実施。

 **モデル**

顧客

 **SI**

顧客

 **業務知見**

顧客

**「データ整備」という大きなボトルネックにAIを活用することで、
高品質かつ低価格で整備を実現**

Client

大手自動車メーカー

課題：用語不一致による検索漏れ

専門用語(例:washer fluid)を、利用者が言い換え表現(例>window cleaner)で質問した際に、適切な情報が検索結果にヒットしづらくなる事象が発生していた。

解決案：ドメイン文書による検索用モデルの継続事前学習

継続事前学習を用いて検索用の埋め込みモデルにドメイン知識を付与し、言い換え表現と専門用語のギャップを埋めることで検索精度を改善。

インフラ

顧客

データ

顧客

モデル

レトリバ

Embedding(検索)
モデルのチューニング
(継続事前学習)により、
精度を改善。

SI

顧客

業務知見

顧客

RAGにおけるEmbedding(検索)モデルのチューニングにより、
LLMへのチューニングと比べて低コストで精度向上を実現

Client

大手SIer

課題：提案品質のばらつきとリスク管理

新規案件の提案において、リスクの見落としや品質のばらつきが発生。手戻りが多く、統制を効かせながら効率的に提案書を作成する仕組みが必要だった。

解決案：リスク診断AIの構築と全体PM支援

提案書をAIが診断・助言するシステムの構築にあたり、データ整備・モデル構築を含むプロジェクト全体のPMを当社が主導して推進し、インフラ・SIは顧客が中心に推進。

 **インフラ**

顧客

 **データ**

レトリバ

過去の提案書やリスク評価シート等のデータを収集・整理。

 **モデル**

レトリバ

判定ロジックの構築とモデルのチューニングを実施し、診断精度を向上。

 **SI**

顧客

 **業務知見**

顧客

**Sier顧客が持つインフラ・SIの強みと
当社が持つデータ・モデルの強みを掛け合わせることで、ユースケースを実現**

Client

大手通信関連機器
メーカー

⚠️ 課題：包括的なAI導入ノウハウの不足

通信関連機器の仕様変更に伴う機能仕様書やソースコードの生成において、AIを内製するノウハウがなく、単独ベンダーでも全領域の専門性をカバーすることが困難だった。

✅ 解決案：3社パートナーシップによるトータル支援

協業先であるGPU商社の菱洋エレクトロ社と当社が連携し、顧客を含めた3社体制で、各社の強みを活かした最適な役割分担を実現。

インフラ

RYOYO

ユースケースに適したサーバー/GPU環境の手配・構築支援を実施。

データ

レトリバ

ユースケースに適した形へのデータ整備および構造化処理を実施。

モデル

レトリバ

ユースケースに適したモデル選定と精度向上のためのチューニングを実施。

SI

RYOYO

システム全体の実装および既存環境との連携開発を実施。

業務知見

顧客

インフラからモデルまでシームレスに連携により、
単独では解決困難な課題をクリアし、導入スピードの加速と成功確度の向上を実現

02

レトリバが選ばれる理由

LLMの根幹技術である自然言語処理の専門家として、**研究者が日々最新の知見を創出・獲得し、機械学習エンジニアがお客様に技術支援サービスを提供する体制**を構築しています。



最先端の自然言語処理技術の研究と開発として、**検索の精度を上げるための独自モデルの構築**も行っており、**精度向上のためのノウハウを有しています。**

RetrievaBERTの構築

Table 5: Livedoor News Corpus 分類における精度評価

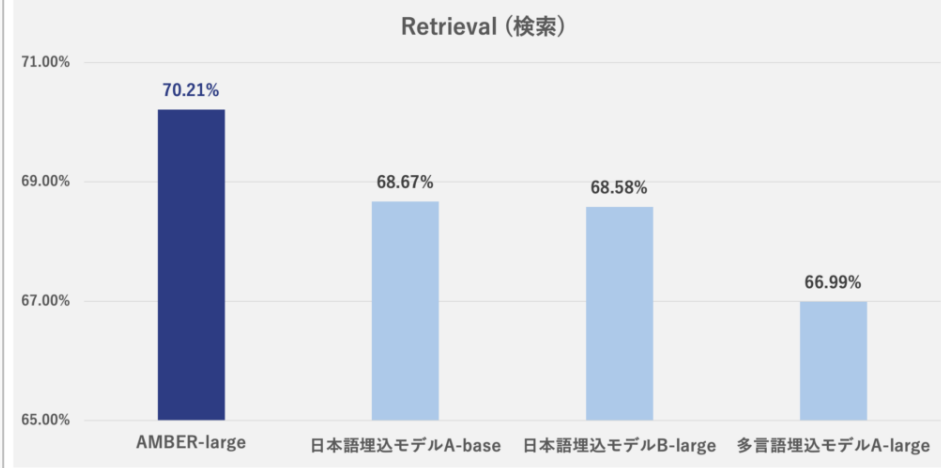
Model	Model size	Context length	Accuracy
BERT base Japanese	base	512	0.9511
Japanese DeBERTa V3 base	base	512	0.9606
BERT large Japanese	large	512	0.9674
RetrievaBERT	1.3B	2048	0.981

パラメータ、**系列長が日本語として最大規模のものを構築**したことで、文字数が長いものでも分類や検索に使うことを可能にし、成果としても、**長い入力を必要とする分類で精度の改善を実現**

公開先：<https://note.com/retrieva/n/n715bea2c2cd1>

AMBERの構築

他モデルとのRetrievalのスコア比較（検索系タスクの平均スコア）

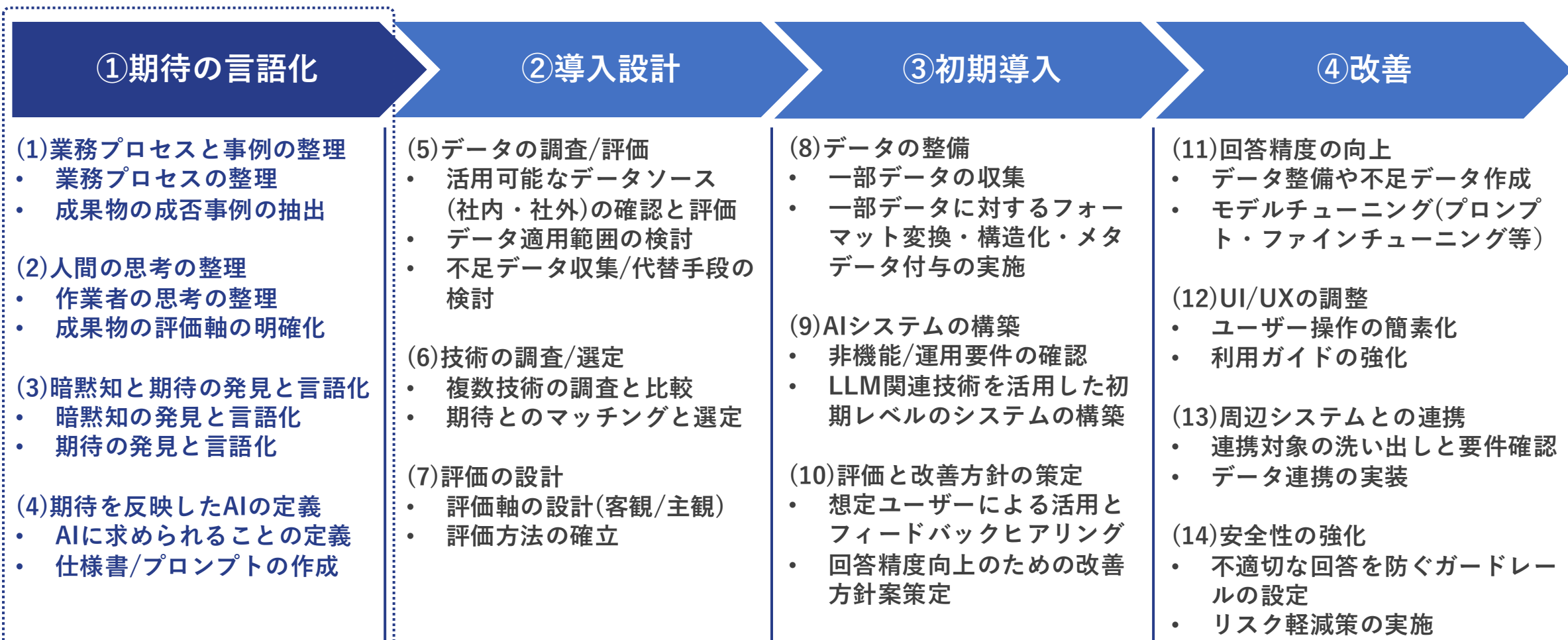


RetrievaBERTを活用した**日本語・英語対応のEmbeddingを構築・公開**

実務に適したコンパクトなモデルサイズの中で、**日本語検索において最高クラスの精度**を誇る

公開先：<https://retrieva.jp/news/202503101100/>

過去10年間にわたるAI導入プロジェクトの経験をもとに、AIに適した開発アプローチ手法として、「人が何を期待しているのか」を明確にすることを基点とする「期待駆動開発」を確立しています。

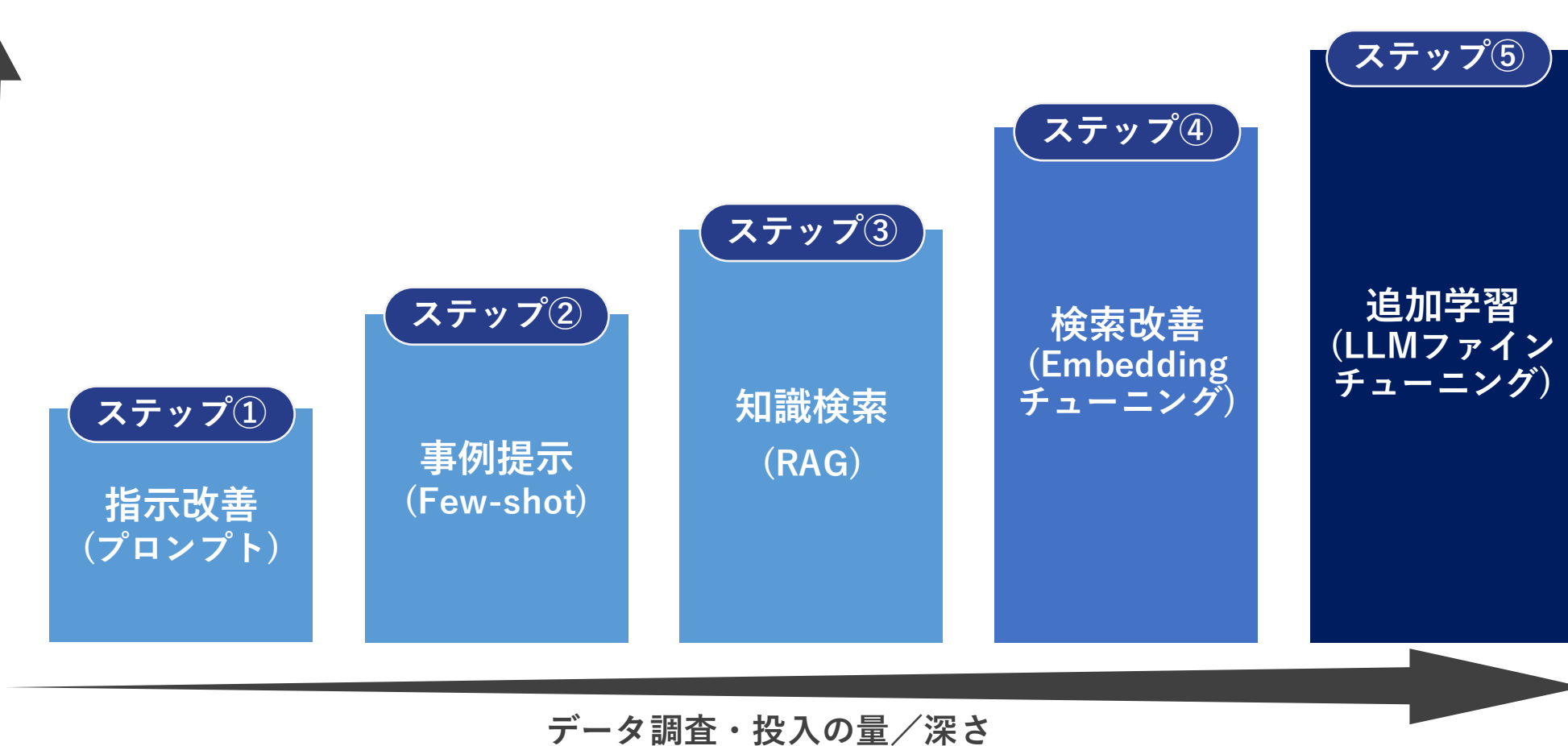


ここを基点に各フェーズを実施

AI導入プロジェクトを成功に導くフレームワーク②：「高度化の5ステップ」 レトリバ

検証のアプローチをフレームワーク化していることで、課題箇所を明確化し、過剰な設備投資をせずに効果的な技術の適用を実現しています。

高度な仕組み

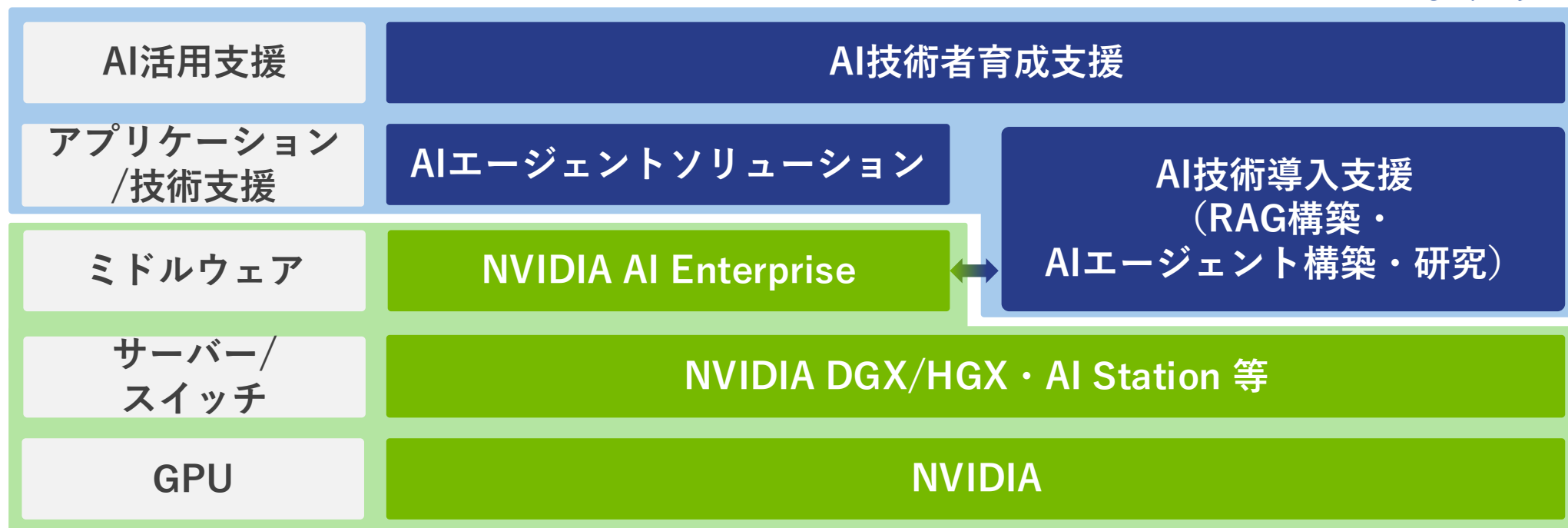


データ調査・投入の量/深さ

AI導入のトータル支援を実現

GPU商社の「**菱洋エレクトロ社**」とGPUの効率化・高速化を得意とする「**フィックスターズ社**」との資本業務提携、また「**NVIDIA社**」との協業により、**オンプレミスも含むインフラからモデルまでのシームレスな連携を実現しています。**

東証プライム企業との資本業務提携による、
インフラまで含めたAI導入のトータル支援を実現



会社名	株式会社レトリバ
設立	2016年8月（10期目）
所在地	東京都豊島区西池袋1-11-1 メトロポリタンプラザビル14F WeWork内
従業員数	36名
代表	田口琢也
事業内容	自然言語処理及び機械学習を用いた ソフトウェアの研究・開発・販売・導入およびサポート
グループ企業	株式会社万葉
加盟団体	・ AIガバナンス協会 ・ LLM勉強会 ・ HEXAGON ・ 言語処理学会 ・ uTIEメンバーシップ ・ NVIDIA inception ・ Microsoft for Startups Founders Hub



レトリバ